

現場と共に、時間を生み出す、余白を生み出す

今回は、第2回勤務時間適正化ワーキンググループとその際に実施した時間予算ワークショップ、第3回勤務時間適正化会議についてお伝えします！

第2回適正化WG・時間予算ワークショップ



第2回WGでは、「学校レベルでの改善と横展開」をテーマに、時間予算ワークショップを実施しました。「全員が30分早く帰るには？」という視点から、日々の業務を見つめ直し、個人で改善アイデアを出した後、グループで共有・分類しました。

グループ協議では、生成AI・ICTの活用や業務の切り分けといった個人でできる工夫から、日課・授業時数の見直し、会議や校内委員会の精選、情報共有の効率化、教科担任制、行事の見直しといった学校全体で取り組む工夫まで、多くのアイデアが出されました。さらに、市教委や国の仕組みとして見直してほしい業務についても意見を共有。最後には、一人ひとりが自校で実践したい「推しの打ち手」を決め、各校での次の一歩につなげました。

参加者からは「そのアイデアなら、うちの学校でもできそう」「そんな取り組みしてたんだ！」という声がいくつも聞かれました。時間予算ワークショップは、校内の教職員で行うと効果的なワークショップです。[こちら](#)から、資料や進め方動画など入手可能ですので、是非、校内実施もご検討ください。教育政策室職員が学校へお伺いして実施することも可能です！

第3回適正化会議 予算の柔軟運用と長期休業について

第3回会議では、①第2回WGの報告、②予算の柔軟運用、③長期休業のあり方についてを議題としました。

②については、例えば「修繕費が余っているのに、委託料はないから外部委託できず、教職員で清掃等を行う負担が大きい」といったような課題に対応できるよう、関係各課と調整の上、予算の流用ができる仕組みを構築しました。③については、来年度の長期休業のあり方について、現在の検討状況をもとに議論を重ねました。



ふり返し

第2回WGで行った時間予算ワークショップでは「～なければならない」といった偏見を取り払い「突飛なアイデア大歓迎」というルールで行いました。「そもそもこれ必要？」を立ち止まって考える機会を持つことで、これまでの当たり前を見直し、たくさんの改善アイデアが生まれました。今回の気づきやアイデアを、各校での実践や市全体の仕組みの見直しにつなげていきたいと思います。

次回予告

第3回WG
10月27日（火）
15:30～17:00
場所：コミセン401